

第1回 但東地域デザイン懇談会を開催しました

3月20日（土）但東市民センターで、「但東地域デザイン懇談会」を開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

はじめに市から、これまでの公共施設再編、公共施設マネジメントの取組みなどについて説明し、そのあと「但東地域内にある公共施設の現状と利用実態等の確認、共有」を行うため、参加者の皆さまに5つの指標（① 生活機能 ② 利用機能 ③ 経済機能 ④ 安全安心機能 ⑤ 風土形成機能）から各公共施設を診断していただきました。その結果を見ながら、意見交換を行いました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

<懇談会の様子>



第2回地域デザイン懇談会開催のお知らせ

開催日時	開催場所	内 容（予定）
2021年5月30日（日） 午前9時30分～	資母体育館	地域住民の生活と身近な公共施設との関わり

【懇談会の傍聴について】

傍聴をご希望される方は、但東振興局地域振興課へ電話、Eメールにてお申し込みください。

- (1) 対象者：但東地域に在住・在勤の方
- (2) 定 員：10名まで（定員になり次第、申込受付は終了します。）
- (3) 申込先：電話番号 54-1000 Eメール：tantou-chiiki@city.toyooka.lg.jp
- (4) 申込時連絡内容：① 氏名 ② 住所 ③ 連絡先電話番号
- (5) 申込期限：2021年5月26日（水）

参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

- ◆ 交通手段が確保できるなら、統合することも一案。
- ◆ 地域は高齢化しており、診療所は地域にとって必要。地域に医療機関がないことが、地域を離れるきっかけにはしたくない。
- ◆ 東井義雄記念館は、小学校の時に行ったことのある人もいるが、全く行ったことがない人もいる。資料館のようになっているらしいが、どういう施設かよく分からない。
- ◆ 今はスポーツ公園を利用しているが、公園・遊具など、子どもが利用できる遊び場がほしい。
- ◆ 全体的に施設が老朽化している。利用していない施設もあるが、なくなるのは寂しい。
- ◆ マイナンバーの受付が平日しかできない。土日も受付してほしい。行政と子ども（子育て世代）の時間（生活リズム）が合わない。
- ◆ 懇談会には、実際に施設を利用する人が来て話しをするべきでは。子どもとか。
- ◆ コミュニティセンターは、3つのコミュニティにそれぞれ必要。企画したものになかなか参加してもらえないのが現状。調理室なども使ってもらおうよう声掛けしているが、申し込んでいただけない。使い方が分からない。何ができるのかが良く分からない。
- ◆ 各小学校間は距離があり、一概に扱ってほしくない。一か所に統合したら、但東は特に遠い。冬場は雪もあり大変。地域性も考えてほしい。
- ◆ 認定こども園の統廃合の話が出ている。予算等を考えれば必要な議論だと思うが、一旦カットすると尻すぼみになる。送迎は親や祖父母がしているが、遠くなるとできなくなり、住む人も少なくなり子どもも減る。
- ◆ そば乾燥調製貯蔵施設は「赤花そばの郷農事組合法人」が利用している。売り上げ利益が出ているので、自分達で運営してみてもいい。赤花そばはおいしい。

【参加者アンケートより】

- ◆ 内容が濃く、短く感じました。
- ◆ 公共施設の見直しと同時に、公共交通も考えないといけない。
- ◆ 自由に意見が言えてよかった。時間配分が良くなかった。
- ◆ 予算の都合で統合、再編の方針が出されることは理解できるが、“無くす”ということの弊害も同時に考え、未来への投資を怠ることがないよう、住民に寄り添った市政運営を期待します。
- ◆ 公共施設の評価をするためには、施設の利用状況、稼働率を示していただかないと判断できないので、本日の評価が正しいかどうか疑問が残ります。
- ◆ 検討されている施設の今後の利用方法、地域の意見を重視した利用。
- ◆ 様々な考え、意見があり、おもしろい会でした。勉強になりました。他の方の意見を聞いていると、不要と思っていたものも必要と感じ、難しいことを考える会と感じた。
- ◆ 但東地域について語り合えたので、すごくいい機会でした。
- ◆ 建物の老朽化をどうしていくのか。早めに存続・廃止を決めていくべきと感じる。

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129
但東振興局 地域振興課 電話 54-1000